

検証者視点の！火災時避難訓練マニュアル

避難訓練手順	職員の動作	検証のポイント
① 火災発生 火災警報器が鳴り、園内放送がかかる	<ul style="list-style-type: none"> □ 火災発生場所を伝える園内放送をする □ 自分の周りにいる子に「集まれ!」と声をかけ、状況を伝える □ 動揺する子の気持ちを静める 	<ul style="list-style-type: none"> □ 各所に設置したカメラの録画を開始。火災発生から時間を計る □ 園内放送の内容は簡潔で分かりやすかったか？ □ 職員が情報を正確に捉え、子どもに簡潔に伝えることができていたか？ □ 子どもの特性に合った対応ができていたか？
② 園庭・避難場所に避難開始	<ul style="list-style-type: none"> □ 「お・は・し・も」など、動き方を子どもと確認する □ 避難ルートを子どもに伝える □ いま一度、逃げ遅れている子どもがいないかどうか、声をかけながら確認する 	<ul style="list-style-type: none"> □ 火災の状況に応じた動き方の指示ができていたか？ □ 危険のないルートだったか？ □ 素早く的確に確認できたか？
③ 園庭・避難場所で点呼	<ul style="list-style-type: none"> □ クラスごとにまとめ、点呼を取って人数を確認する □ けがをしている子、情緒が不安定になっている子がいるかどうかを確認する □ 全員の確認が取れたら訓練終了 	<ul style="list-style-type: none"> □ 人数が合わない場合の職員同士の伝達・連携は適切だったか？ □ 該当の子どもへの対応は適切だったか？ □ 全体の所要時間、各動作にかかった時間を確認する

※ここでは、子どもの避難に絞ってまとめています。実際の訓練では、火事の通報・消火活動をする職員の動きの訓練・検証も必要です。